

---

# 豆夫くん

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

豆夫くん

### 【Nコード】

N3885W

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

手塚治虫のエピソードを思い出しながら、書きました。

豆夫くんが会社に着いたとき、いきなり課長に呼ばれた。

課長がかなりイライラしてるので、豆夫くんははらはらしてる。

「これは何だねっ豆くん!!」

「ひっ」

課長は机の上に書類をどんと置く。

豆夫くんは、汗がたらたら流れる。

書類を見てみると……。

表向きは普通だ。企画会議のレジュメとなっている。

しかし、裏がいかん。

小説が、小さい字でびっちり書いてある!!

「君というやつは……」

課長が怒りに震えている。

豆夫くんは、その書類を家に持ち帰るつもりが、

課長が出張してる間、会議室で小説を書きまくり、

書きすぎて疲れ果てへとへとになり、置いていつてしまったのだ。

凡ミスである。

「豆くん。手塚治虫って知ってるかね」

「知りません」

「知らないのか。百年前に活躍してた漫画家だ」

「はあ。そりゃ知らないですよ。野球選手かと思いました」

課長は、豆夫くんをにらんだので、豆夫くんはおどおどした。

「彼はね。漫画家になる前に医学生だった。」

しかし、彼は、カルテの裏に、患者さんの似顔絵を描いたりしてしまっただ。

だから、教授は彼に言ったんだ。君は、医者になっても患者を殺すから、漫画家になりなさいと。

彼は泣いた。しかし、教授は、漫画で子供を癒すのも医療だよと言

った。わかるね」

「はあ。え。つまり、許してくれるんですね」

「バカ。解雇だ」

「ええつ。そんな。がんばりますので、勘弁してください」

「ならぬ。不況だから、やる気のない社員は解雇。人件費を削るのだ」

「そんなあ。うわああああん。うわああああん」

「うるさい!!!」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3885w/>

---

豆夫くん

2011年10月9日15時43分発行